



Rotary
District 2620



持続可能な
インパクトを
生み出そう



CREATE
LASTING
IMPACT

Rotary

2026-27 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2026-27 年度
会長：桑原 茂 副会長：望月 誠 幹事：杉浦 聡 副幹事：杉山茂範

例 会 第 1 6 4 3 回 通常例会/小杉苑

ソング：四つのテスト、燃えろよ燃えろ ソングリーダー：中山恵喜君

■ 会 長 挨 拶

桑原 茂君



みなさん、こんにちは・・・

今週は酷暑週間です・・・今までは 35 度以上を猛暑、今年からは 40 度以上を酷暑と呼ぶそうです・・・ちなみに 25 度以上が夏日、30 度以上が真夏日です

また、最低気温が 25 度以上は熱帯夜・・・最近最低気温が 29 度なんて話を聞きましたので、近いうちに熱帯夜の次の名称がでてくるかもしれません・・・

さて、若林ガバナーの各クラブへの訪問が 7 月より始まっております。7/17 (金) の伊東西、伊東 RC、その夜にせせらぎ三島 RC を訪問そして、今週は 22 (水) 長泉 RC、23 (木) 大月・都留 RC、24 日 (金) 沼津、沼津柿田川 RC まで、来週は 27 日 (月) 浜北、浜北キベ RC、29 日 (水) 浜松北、浜名湖、浜松西 RC のあと夜は浜松ハーモニー RC、翌日の 30 日 (木) は掛川 RC、その後移動して夕方富士宮、富士宮西 RC となります。7 月は 7 日間で 17 クラブの訪問です

8 月はまたご報告いたしますが、12 日間で 26 クラブの訪問です。8 月はお盆休みもあるので

実質平日はほぼどこかのクラブに訪問していることになると思います。本当に大変なことであると思います。それを若林ガバナーと竹田地区幹事、そして付き添うメンバー、縁の下力持ちとなって地区の運営を支えているメンバーに我々は敬意と感謝をしなければなりません

ガバナー、地区幹事を始め、地区運営に関わっているメンバーが例会に出席しているときは是非『ご苦労様』の一言をかけてくださればそれが地区大会への成功、そして南クラブの絆が深まっていくことにつながっていくと思います。どうかみなさん、『ご苦労様』『たいへんでした』そんな労いの声掛けをよろしくお願いいたします。

さて、今週は山本空君の帰国報告会となっております。一年間の留学の成果を聞かせていただくことも楽しみです。空君の成長した姿をこうして会って見ることを非常に楽しみにしております。本日は藤枝東高校の森谷校長先生と地区の青少年育成委員会から白井様もお見えになっていただいております。準備期間も含めていろいろなご苦労なことがあったと思います。そんなお話も聞かせていただきながら子供たちの未来への投資に我々ロータリーが我々ロータリアンが何ができるかを、何をすべきかを考えていきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。



出席報告

中村秀樹君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31/53 58.49%	49/53 92.45%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○秋谷君○飯田君○植田君○大村君○加藤君
○川口君○小嶋君○佐野博君○佐野芳君
○鈴木寿君○竹田君○樽井君○富澤賢君
○中村博君○中野君○松浦君○望月君
○山田幸君○若林君

伊藤彰君 増田君 森下君

(1)メイクアップ者

鈴木健夫君(地区) 富澤賢一君(地区)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
40	37	3	4

パーフェクト例会数: 😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

スマイルBOX

中村秀樹君

- ・本日は山本空君の帰国報告会です。この後お話をしてくれるので楽しみにしています。
桑原 茂君
- ・本日は藤枝東高校から、校長の森谷先生、担任の松岡先生、副担任の鶴先生に、地区青少年交換委員会 担当事務局の白井様、そして2025-26年度 長期派遣学生の山本空さんにお越しいただきました。ご参加を心より歓迎申し上げます。
本日をもちまして、足掛け2年に及んだ青少年交換プログラムも一区切りとなります。
昨年度は鈴木会長のもと多くの方に、ベンツェさんの休日サポートなどご協力をいただいたお陰で本日を迎えることができました。心より感謝を申し上げ、御礼とさせていただきます。ありがとうございます。 中山恵喜君
- ・私と妻の誕生祝いありがとうございました。
2人仲良く誕生月を迎えております。

早川清人君

スマイル累計額 86,000円

ビジター

青少年交換事業留学生

山本 空 君

静岡県立藤枝東高等学校

校長 森谷幹子 様

教諭 松岡幹雄 様

教諭 鶴 亜利紗 様

青少年交換事業担当事務局

白井 真寿美 様

青少年交換留学生帰国報告



長期派遣学生 山本 空君

こんにちは。2025 年度から 2026 年度にかけて、藤枝南ロータリークラブからハンガリーの Duna ロータリークラブへ、1 年間の交換留学をさせていただきました、山本空です。

これから、この1年間で得たことについてお話ししていきます。15分という短い時間ですが、どうぞお付き合いください。

まず、皆さんは「ハンガリー」と聞いたとき、何を思い浮かべますか？

僕は初めて留学先がハンガリーだと聞かされたとき、頭が真っ白になりました。

ヨーロッパの中でのハンガリーの位置については、Bence から教わっていると思うので、ここでは省略します。

僕は、ハンガリーの首都であるブダペストに住んでいました。ブダペストは、ハンガリーの北部に位置しています。

ブダペストは、ドナウ川を挟んで西側の「ブダ」と東側の「ペスト」という2つの地域から成り立っています。街には、ハンガリーの象徴である国会議事堂や、ブダペストの美しい街並みを一望できる漁夫の砦、歴史あるブダ城などがあります。僕が通っていた学校はカトリックの学校で、毎週金曜日には教会に行きます。ハンガリーではキリ

スト教が主な宗教で、街中には多くの教会があります。

学校は小中高一貫校で、各学年 2 クラスしかありません。そのうち 1 つは、高校に上がる前に 1 年間英語を集中的に学んだクラスで、もう 1 つはそうではないクラスです。僕は 10 学年に通いました。日本でいう高校 1 年生にあたります。

クラスメイトは皆とても優しく、楽しい時間を過ごすことができました。

教室はこのような感じで、基本的にホワイトボードを使います。また、毎回の授業で席は自由に選ぶことができます。

この写真は、クラスメイトと一緒にハンガリーの伝統的な踊りを踊ったときの写真です。唯一のアジア人である自分が、このような場に参加できたことをとても光栄に思いました。

また、この写真に写っている僕の担任の先生は、いつも僕のことを気にかけてくれた、とても大好きな先生です。彼女は英語の先生で、生徒とは基本的に英語でしか話しません。

週に 1 回、先生とマンツーマンで英語の授業をしていただき、僕の英語力はとても上達しました。先生はとてもユニークな人で、口癖は「I still love you」です。僕たちが何かやらかすと、いつもこの言葉を言います。

学校生活で大きな違いを感じたのは、上下関係があまりないことです。クラス内でも 1 歳年上の人がいったり、年下の人年上の人に敬語を使う必要がなかったりと、日本のような厳しい上下関係はありません。そのため、サッカーなどでも年齢に関係なく、皆で楽しく遊ぶことができました。

クラス旅行では、ルーマニアに行きました。ルーマニアの一部は、もともとハンガリーの領地でしたが、第一次世界大戦後にハンガリーから切り離され、現在のルーマニアの一部となりました。そのため、今でもハンガリー語を話す人たちが多く住んでいます。

これは、スカイライダーをしたときの写真です。とても緊張していたことを覚えています。空から見る景色はとても美しく、一生の思い出になりました。

また、この写真は最終日の早朝、3 時に起きて朝日を見に行ったときの写真です。山を 1 時間ほどかけて登り、そこで見た日の出は、この世の何よりも美しく感じました。

僕の学校がキリスト教の学校であることから分かるように、ヨーロッパの多くの国ではキリス

ト教が信仰されています。

これはハンガリーにある教会の写真です。街のいたるところに教会があり、日本では見ることできないような規模の建物ばかりでした。

そして、この宗教は僕の人生に大きな変化をもたらしました。

きっかけは、学校で受けた大学受験の練習テストです。僕はそこで宗教という科目を選び、勉強を始めました。勉強していくうちにキリスト教への興味が高まり、次第に「なぜ人は神を信じるのだろう」と考えるようになりました。

家族の影響も強いと思いますが、何よりも、神を信じる人たちは強く、幸せそうに僕の目には映りました。神はこの宗教を通して、人間の本当のあり方を示し、互いに助け合い、感謝し、尊敬し合うことを望んだのではないかと思います。

この宗教が僕に大きな影響を与えた理由は、日本人である自分が周りに流されやすく、自分を第一に考えることが苦手だった中で、自分自身を愛することの大切さを教えてくれたからです。

ここで少し、ハンガリーで起こった出来事を紹介します。

ハンガリーでは、ヴィクトル・オルバーン首相率いる Fidesz が、2010 年から 16 年間にわたって政権を担ってきました。そのため、今回の選挙は、長年続いてきた政治が大きく変わる可能性のある選挙として、多くの人から注目されていました。日本にいるとき、政治はニュースの中にあるものという感覚がありました。しかし、ハンガリーで生活していると、友達や家族の間で選挙について話す機会が多くありました。

また、選挙日前日には、投票を促すことを目的とした無料ライブなども行われていました。

そのような様子を見て、政治が自分の生活のすぐ近くにあるものだ実感しました。

僕のホストクラブの方々とは皆とても優しく、いつも僕のことを気にかけてくださいました。

2 週間に 1 度ロータリーの集まりがあり、僕も毎回参加していました。

ハンガリーには地区が 1 つしかなく、ロータリークラブは日本と比べると会員数などの規模が小さく、高齢化も進んでいるとおっしゃっていました。一方で、ハンガリーでは交換留学のプログラムが盛んで、来年には短期と長期を合わせて、約 60 人の留学生がハンガリーに来るそうです。

この写真は、ロータリーで次年度の派遣学生に向けて、それぞれの出身国についてプレゼンテーシ

ョンをしたときの写真です。

ハンガリーには、僕のほかに2人の留学生がいて、皆で浴衣を着ました。そこで、日本にしかない、日本特有の美しさを改めて実感しました。

僕の所属するクラブの会員でもあり、僕の第二のホストファザーでもある József という方とは、多くの時間を一緒に過ごしました。

最終日の朝には、朝3時に起きて、一緒に朝日を見に行きました。ハンガリーでの最後の思い出です。どのホストクラブの方々も僕にとってもよくしてくださり、多くの思い出を与えてくださいました。その中でも、特に最初のホストファミリーとの時間は、3つのホストファミリーの中で最も長く、僕の人生を大きく変えた時間になりました。主に、一緒に暮らしていた息子と母親と過ごしていました。母親は昔アメリカに留学していたため、会話は基本的に英語でした。彼女とは、文化的な違いや誤解などによる衝突が何度もありました。しかし、彼女はそこから逃げることなく、いつも話し合う時間を作ってくれました。

一番大きな衝突の原因は、コミュニケーション不足でした。「察する」という文化はハンガリーにはあまりなく、思っていることは口にして伝えることが大切です。これらの衝突と話し合いを通して、僕は人生観やハンガリー、そしてヨーロッパの文化への理解を深めることができました。

すれ違いが起こるたびに、とても苦しい気持ちになりました。しかし、今振り返ると、自分にとって必要な時間だったと思っています。

また、この会話の中で彼女が面白い話をしてくれたので、紹介させていただきます。

「人生はビュッフェのようなものだ。いろいろな人から聞いた話や本など、多くの場所から世界について知ること、お店の棚に並ぶ料理をどんどん増やしていく。そして、そこから生きていく上で何を信じるのか、何が好きで何が嫌いなのか、どのような自分になりたいのかを、その棚にある料理の中から自分の好きなように選んでいけばいい。」

この話には僕はとても感動しました。そして、これはまさしく留学をする上でとても大切な考え方だと感じました。日本の料理とハンガリーの料理、その両方がある僕は、これから自分だけのプレートを作っていきたいと思っています。

ハンガリーのロータリークラブの留学生とは、多くのプログラムと一緒に経験しました。

2か月に1度、留学生のためのプログラムを開催

していただき、たくさんの思い出を作ることができました。特に、最後のプログラムが一番印象に残っています。皆と話したり、お互いの国旗にサインをし合ったりして、とても充実した時間を留学生の仲間たちと過ごしました。また、そこで行われた留学生同士のハンガリー語大会では、2位を取ることができました。とてもうれしかったです。さまざまな国籍の友達と話すことで、世界の広さを実感すると同時に、それぞれの文化にも興味を持つようになりました。今でも連絡を取っている友達もいて、このつながりは僕にとって、とても大切なものになりました。

最後の月には、スイスから来ていた留学生と一緒に、ヨーロッパを旅行しました。

まず、フランスのパリを訪れました。

ルーブル美術館では、教科書やスクリーンの中でしか見たことのなかった「モナ・リザ」や「民衆を導く自由の女神」を、実際に自分の目で見ることができました。

その後はエッフェル塔にも行きました。これまで写真や映像でしか見たことのなかった場所を、実際に自分の目で見られたことに、とても感動しました。

その後は、オランダのアムステルダムを訪れ、自転車で街を観光しました。また、第二次世界大戦中に隠れ家で生活していたアンネ・フランクについて学ぶことができる博物館にも行きました。

そしてベルギーでは、本場のフライドポテトやワッフルを食べ、ドイツのベルリンへ向かいました。ベルリンでは、ベルリンの壁や強制収容所を訪れました。実際にその場所に立つことで、戦争が残した傷跡や、その悲惨さを強く感じました。

その後、親戚の住むデンマークへ一人で向かいました。

デンマークでは多くの場所を訪れましたが、何よりも、僕が留学生になるきっかけを作ってくれた親戚と、留学生としてヨーロッパにいる間にデンマークで会うことができたことが、本当にうれしかったです。

留学を始める前の僕は、ヨーロッパを「遠い場所」だと感じていました。しかし、この1年間で多くの国を訪れ、さまざまな文化や歴史に触れました。特に最後の旅行では、国境を越えて、異なる文化を持つ人たちと一緒に旅をする楽しさを実感しました。この経験を通して、世界は自分が思っていたよりもずっと身近なものになりました。

そして、知らない場所や人に対しても、以前より

積極的に飛び込んでいけるようになったと感じています。この留学期間を通して、僕は自分が思っている以上に成長し、変わることができたと確信しています。このような経験をし、素晴らしい人々と出会うことができたのは、ロータリークラブの存在があったからです。今は、支えてくださった皆さんに感謝の気持ちしかありません。これからはローテクスとしてロータリーに貢献していきたいです。
ご清聴ありがとうございました。



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
8/7(金) 第 1644 回	会員卓話	理事会
8/21(金) 第 1645 回	納涼夜間例会	小杉苑
8/28(金) 第 1646 回	ガバナー補佐訪問	小杉苑
9/4(金) 第 1647 回	会員卓話	理事会

今週の一言

渡邊芳隆君



皆様こんにちは、渡邊次男です。連日暑い日が続いて居ります、昨日は佐久間で 41.1 度を記録致しました、40度を過ぎると猛

暑から酷暑に成るそうです。

我が南 RC には、鈴木姓が 3 名渡邊の姓が 3 名の 3 兄弟が居りますが、今年度、桑原年度から渡邊が 1 名増えて 4 兄弟に成りました、どうぞ宜しくお願い致します。

年を取って参りますと、会話する内容が病気のこと、年金のこと等が増えて参ります。

55 歳を過ぎた頃、定期健診で不整脈が出ていると言われ 2 年位其の俛にして居りましたが、正常な脈に成らないので、専門医の診察を受けた処心房細動ですと言われ此のままだと、血栓ができ、血栓が脳に行った時は脳梗塞、心臓に留まると心筋梗塞が起きると言われ、心臓にカテーテルを入れるアブレーション手術を 3 回行いました。

手術をした当初は心房細動が治まるのですが。医者に貴方の心臓は頑固だと言うのですが、何とか治してくれとお願いしましたが、これ以上手術をすると心臓に穴が開く可能性があると言われ、今は薬を飲み続けて居ります。

65 歳を過ぎた頃から、目がかすみ始めカーテンが掛かって様な物がよく見えない状態になり、昨年の 9 月 29 日に白内障の手術をした処なんとゴルフのティーショットをしたボールが落下地点まで良く見える様になりました。しかし残念な事に妻（早苗ちゃん）の顔も見える様になりました。最近、腰と言うかお尻また心臓にインパクトが欲しい今日この頃です。



(担当/杉山茂範君)